

平成 28 年度水戸市在宅介護実態調査について

1 調査の概要

(1) 調査目的

「在宅介護実態調査」は、次期介護保険事業計画（計画期間：平成30～32年度）の策定に向けて、これまでの「地域包括ケアシステムの構築」という観点に加え、「介護離職をなくしていくためにはどのようなサービスが必要か」といった観点を盛り込むため、その情報を取得することにより、「高齢者等の適切な在宅生活の継続」と「家族等介護者の就労継続」の実現に向けた介護サービスの在り方を検討することを目的とする。

(2) 調査対象者

在宅で生活をしている要支援・要介護認定を受けている者のうち、本年度、更新申請又は区分変更申請に伴う認定調査を受けた者

(3) 調査件数

600 件

(4) 調査内容

介護保険その他関連サービス等の利用状況や今後の利用意向、介護者の就労状況などについて調査（詳細は、資料「平成 28 年度 水戸市在宅介護実態調査（調査票）」を参照）

(5) 調査方法

水戸市と事務協定を締結する指定居宅介護支援事業所（主任介護支援専門員が所属する特定事業所）が、水戸市が指定する調査対象者に対して、調査票をもとに聞き取りによる調査を実施

2 調査のスケジュール

平成 28 年 12 月 19 日（月）	水戸市在宅介護実態調査事務に関する事業所向け説明会 水戸市から事業所に対して調査票を配付
平成 28 年 12 月～平成 29 年 2 月 28 日（火）	事業所による調査の実施
平成 29 年 3 月以降	水戸市における集計結果の取りまとめ